

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	持続可能な開発のための教育協力等		事業開始年度	平成20年度		作成責任者
担当部署	国際統括官付		担当課室	国際統括官付		国際課国際協力政策室長 浅井 孝司
会計区分	一般会計		上位政策	国際協力の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	わが国における「国連持続可能な開発のための教育の10年」実施計画		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ユネスコを通じて、持続可能な社会の構築、将来世代の人材育成等の諸課題に取り組み、持続可能な開発のための教育(ESD)を一層推進する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「持続可能な開発のための教育交流・協力信託基金」をユネスコに拠出し、次の目的に関する事業実施を支援。 (1)「国連持続可能な開発のための教育の10年(2005-2014、UNDESD)の後半5年の戦略の具体化と実施 (2)ESDの普及・促進のための国際的枠組みの構築 (3)政策対話、調査研究等の推進					
実施状況	平成21年度は、事業概要に記載の1)~3)の各目的のもと次の事業活動を支援。 1)→DESDのモニタリング及び評価の実施、DESD締めくり会合に向けた準備 2)→ユネスコ・スクールネットワークの活用、ESDに関する国際協力の推進、DESDコミュニケーション戦略の実施 3)→ユネスコチャーター及びユネスコネットワークを活用した知識の算出と交流、EFA-ESDの政策対話の実施					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	420	320	320	0
	執行額	-	420	320		
	執行率	-	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	420	320		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	ユネスコから、「持続可能な開発のための教育交流・協力信託基金」で実施を希望するプロジェクトの提案が文部科学省に対してなされる。その内容を十分検討の上、採否を決定している。文部科学省の方針が適切にプロジェクトに反映されるよう、その都度要請している。また、ユネスコの財務状況報告書に基づき、本拠出金の支出先・使途・使用状況を把握している。				
	見直しの余地	今後、文部科学省がユネスコに対して具体的なプロジェクト案を示し、ユネスコがDESDの締めくり会合に向けて戦略的に実施するプロジェクトを増やしていく必要がある。				
予算監視・効率化の所見	1. 事業評価の観点：この事業は、「持続可能な開発のための教育交流・協力信託基金」をユネスコに拠出し、①「国連持続可能な開発のための教育の10年(2005-2014)の後半5年の戦略の具体化と実施 ②持続可能な開発のための教育の普及・促進のための国際的枠組みの構築 ③政策対話、調査研究等の推進」に関する事業実施を支援する目的で行われている事業であり、事業効果の観点から検証を行った。 2. 所見：これまでユネスコから提案されたプロジェクトに対して拠出を行ってきているが、期待された事業効果が達成されたかを確認し、効率化を図るとともに他の類似事業との統合を視野にいれ、廃止のうえ整理統合すべきである。					
補記						

持続可能な開発のための教育協力等

文部科学省
320百万円

【拠出金】

A. ユネスコ(国際連合教育科学
文化機関)

持続可能な開発のための教育
交流・協力信託基金:320百万
円

- (1)「国連持続可能な開発のための教育の10年(2005-2014、UNDESD)の後半5年の戦略の具体化と実施
- (2)ESDの普及・促進のための国際的枠組みの構築
- (3)政策対話、調査研究等の推進

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

A. ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	持続可能な開発のための教育交流・協力信託基金	320			
計		320	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)